

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	pStageIII 胃癌に対する adjuvant S-1+Docetaxel 療法の治療成績
	研究対象者	2015 年 3 月から 2023 年 4 月までに当院で胃癌に対して根治的胃切除(R0 手術)が施行され、病理診断により stageIII と診断、術後補助化学療法として DS 療法を施行した症例を対象とする。
	研究目的	JACCRO GC-07 試験の結果により、補助化学療法として S-1+Docetaxel 併用療法 (DS 療法) がオキサリプラチン併用療法と共に StageIII 胃癌に対して推奨されるようになった。2021 年に DS 療法が国内承認を得られ、日常診療に導入されたが、その治療成績の real world data は未だ不十分である。今回当院において根治的胃切除術が施行された症例の内、pStageIII の診断となり、術後補助化学療法として DS 療法を施行した症例を対象として後方視的に観察研究することでその有効性と安全性を解析する。
	研究方法	上記対象患者の臨床データを後方視的に集積し、臨床病理学的因子、周術期因子、予後について後方視的に検討します。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号 (識別コード) で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西暦 2024 年 10 月 21 日 ~ 西暦 2026 年 3 月 31 日
利用又は提供を開始する時期	[×]総長が研究実施を許可した日	
	[] 西暦 年 月 日頃 (研究の進捗によって前後いたします)	
利用する試料・情報の項目(チェック[X]が入った項目を利用します)	[] 試料:	[] 血漿、[] 血清、[] 全血、[] 末梢血から抽出した DNA、 [] 病理検体(具体的に記載: _____)、 [] 尿、[] 糞便、[] 唾液、[] 胸水、[] 腹水、[] 脳脊髄液、 [] 毛髪、[] その他(具体的に記載: _____)
	[×] 情報:	[×] 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[×] 年齢、[] 生年月日、[×] 性別、[×] 既往歴、[×] 併存疾患、[×] 外来日・入院日・退院日、[×] 臨床検査値、[×] 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[×] 臨床所見・経過 (予後追跡データを含む)、[] ゲノムデータ、[] 看護記録、[] その他 (具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	胃食道外科 森田順也
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター・消化器外科 (胃食道)・森田順也・045(520)2222 利用停止のお申し出は 2025 年 3 月 31 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	